

## 東アジア文化都市への応募について

文化庁により、平成 26 (2014) 年に日中韓 3 か国において実施する「東アジア文化都市」の募集があり、本市としまして、先日の 15 日 (金) に応募しましたので報告します。

なお、選考結果については、文化庁が設置する「選定協力者委員会」の審査を経て、4 月下旬に内示通知される予定です。

### 1 公募概要

#### (1) 目的

- ・様々な文化芸術イベント等の実施による、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進し、東アジアの多様な文化の国際発信力を強化する。
- ・当該都市が、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進し、事業実施を契機として発展する。

#### (2) 募集期間・内容

平成 25 年 2 月 15 日より 3 月 15 日までの間。

平成 26 年 1 月～12 月における日本の「東アジア文化都市」を 1 都市選定

※ 平成 26 年は、日中韓で各 1 都市を選定。

#### (3) 実施事業

ア 開会イベント

イ 文化芸術関連イベントを集中的に実施するコア期間 (1 か月程度) の設置

ウ 閉会イベント

#### (4) 文化庁の支援について (国・地方とも事業の実施に当たっては、当該年度の予算承認が前提となります。)

ア 選定都市主催事業に対して実施経費の一部負担 (負担割合は未定)

・平成 26 年 1 月～3 月 開会イベント及び実施準備に係る経費等

・平成 26 年 4 月～12 月 期間内に実施される市主催のイベント実施に係る経費

イ 文化庁主催国際会議の選定都市での開催 など

### 2 企画提案書の概要

#### (1) 開催コンセプト

これまで横浜が培ってきた、多様な主体による文化芸術、創造的活動を紡ぎ合わせ、「まち全体に広がる東アジア文化都市」を演出します。

具体的には、現代アートの国際展である「ヨコハマトリエンナーレ 2014」を中心に、最先端の現代アート、舞台芸術、音楽、ダンスなど、多彩なイベントを展開し、多くの人々を横浜にひきつけ、観光振興や創造産業の創出につなげていきます。

また、横浜が創造都市施策により形成してきた黄金町などの創造界隈拠点を中心として、アーティスト・イン・レジデンスなども展開します。

#### (2) 主な事業内容

ア 開会イベント (2 月下旬～3 月上旬)

東アジア文化都市の幕開けを広く伝達するとともに、日中韓及び ASEAN・モンゴルの各国との交流機会の拡大と文化芸術による、まちの盛り上がり機運を高めます。

#### イ コア期間 (10 月上旬～11 月上旬)

ヨコハマトリエンナーレ 2014 を中心にその連携事業をまち全体に展開するとともに、アーティスト・イン・レジデンスによる作品展を開催します。

(例) 横濱ジャズプロムナード、スマートイルミネーション など

#### ウ コア期間以外

東アジア文化都市をまち全体で盛り上げていくとともに、多彩な文化芸術イベント等を市民とともに実施していくことで、多くの人々を横浜にひきつけ、観光振興や創造産業の創出につなげていきます。

(例) フォトヨコハマ、国際舞台芸術ミーティング in 横浜 など

#### エ 閉会イベント (12 月)

横浜で初開催となった東アジア文化都市の集大成発表と次回開催都市へのバトンタッチによる交流を行います。

### 3 「東アジア文化都市」を開催するメリット

- 創造都市ネットワーク日本 (CCNJ) の初代表幹事であり、日本の創造都市を代表する都市として、「東アジア文化都市」を開催することにより、「文化芸術創造都市・横浜」を世界に情報発信することができます。
- 横浜トリエンナーレについて、文化庁と連携強化することで、より質の向上を図ることが可能となります。また、併せて、文化庁主催の国際会議が横浜で開催されます。
- 「東アジア文化都市」を開催することにより、多くの来場者が訪れ、賑わいの創出や経済活性化につなげることができます。

### 4 期待する効果

「東アジア文化都市」を開催することで、創造都市、文化振興、観光振興のみならずシテイプロモーションも加え相乗効果が発揮され、横浜市が目指す「文化・芸術、賑わいと、創造性のある都市」の実現に向けた取組を、より強力に推進することができます。

具体的には、「東アジア文化都市」をまち全体で取り組むことにより、文化芸術の振興や観光振興につなげるとともに、創造産業の創出や経済活性化、国際発信力の強化と相互交流にもつなげていきます。これらの相乗効果により、「創造的なまちづくり」につながる効果が期待できます。

